

羽田新飛行ルート 固定化回避へ 一歩前進!



国土交通大臣 「有識者検討会設置」を表明

5月28日、公明党品川総支部（伊藤こういち総支部長・都議会議員）は、ルート下である目黒・港総支部と共に、国会にて赤羽一嘉国土交通大臣に緊急申し入れを行い、区民の皆様の切実な声を届けました。

申し入れ内容

- ◎ 新型コロナウイルス感染症による影響と国民の生活様式の変化により、まずは減少している需要が回復するまでの間、新飛行ルートの運用を見送るなど都民・区民の声に応える施策を講じること。
 - ◎ 羽田空港新飛行ルートの再考および固定化を避ける取り組みを、早急かつ具体的に検討すること。
- 以上2点を強く求めました。



6月3日、岡本みつなり衆議院議員（公明党）は、衆議院・国土交通委員会で、この地元からの要望を取り上げ、対応を求めました。赤羽大臣から「新経路の固定化を回避するための方策を早急に検討するため、有識者および専門家による検討会を今月中にも立ち上げる」との表明がありました。

伊藤こういち（総支部長・都議会議員）のコメント

2014年6月、国交省より説明を受けてから、区民の安全・安心を最優先に考え、繰り返し国交省に申し入れを行ってきました。今回の検討会の設置をもって、固定化の回避が決定されたわけではありませんが、一貫して「新飛行ルートを固定化しないよう、検討するべき」と訴えてきましたので、一歩前進です。これからも、区民のみなさんの不安を解消するべく、区議会・都議会・国会のネットワークの力を活かしてまいります。